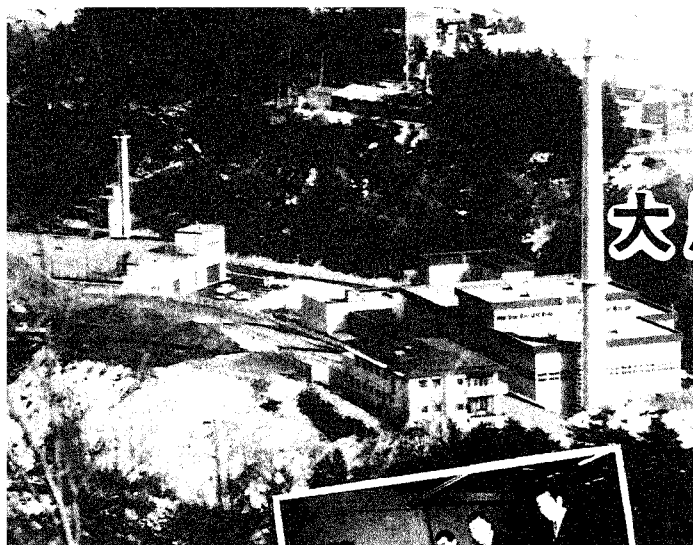


美しい環境を守るため



大月都留衛生組合

昭和五十九年度より三カ年計画で建設工事を進めていた大月都留衛生組合し尿処理施設がこのほど完成し、二月十日竣工式が行われ、関係者約百人が出席して完成を祝いました。

新しくなったし尿処理施設は、建築面積三、三三五平方メートル、地下一階地上一階で、処理能力は一日九十キロリットルで、都留市・大月市・道志村・秋山村を対象地区としています。

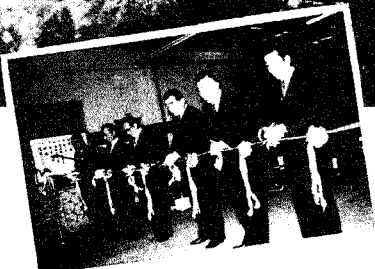
し尿処理施設が完成

このし尿処理施設は、低希釈二段活性汚泥法を採用し、公共水域を保護するため、高度処理装置を備えたもので、昭和五十九年八月より建築物から着手し、昭和六十年十一月には、第一期工事の完成に

より、旧施設の前処理を利用しながら、仮運転が開始されました。

引き続き、旧施設の沈澱池等の取りこわしを行い、その後第二期工事が開始されました。

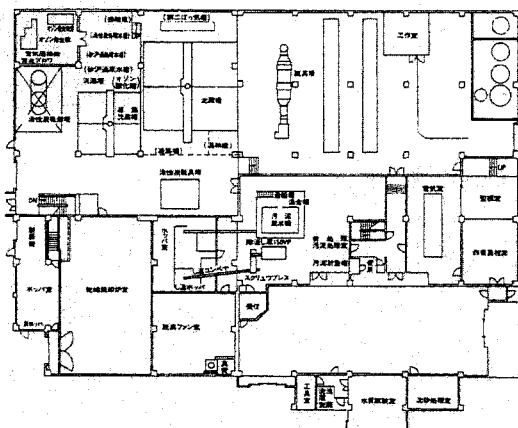
その間、旧施設の汚泥脱水及び処理作業に難行をきわめました。しが、し尿搬入の停止を行うことなく、新施設に移行し、昨年十二月から、大月都留衛生組合の職員により、試行運転が行われてきたものです。



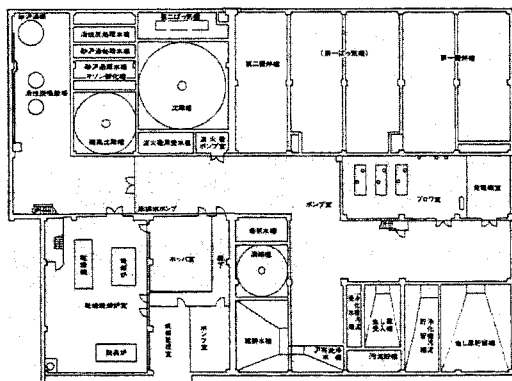
低希釈二段活性汚泥法処理方式

し尿中の有機物と窒素化合物を高い効率で除去し、窒素を最終的に安全、無害な窒素ガスに変えて除去するものです。

平面配置図



一階平面図



地階平面図